

1 日町長 別海地区の問題

別海町 総務部総合政策課

Bグループ

Bグループの ストーリーの基礎

別海町に人が住んでいることが
なくなってしまう。

別海町に、空き地が増へ
店の数が少なくなって行き
ながしべつや、くしろにどんどん
別海町の人達が外へ行っ
てしまう。

別海しでっかくおれかけてみんか
でなくなると、
なのに災害も多くなる。

大きな地しんかをしてつなみかおこさせて
家がいなくなり住めなくなってしまう

人口が減っていき農業などのあつ
ぎの人たちかへる
↓

牛などかへていき、
牛乳などかえれなくなる

子ども達の遊ぶ場所が
少なくなってみんな違う町
へ移動しちゃう。

みんなが別海町で買い
物をしないで町外へなか
しべつや釧路で買しま
う!!

高収入者の住んでいた家が
ふるくなってつぶれると
ゴミとなって町がきれいにな
くなる

別海地区のひなま場所に
人が集中し、食べ物などが満足に
用意できない。

いじしんご、...
その2日ご、あうしがきたら木木に近か
り家が、ふれってあってあうないきけん
せいがさらに高まる

高齢者の避難がむずかしい
状況になってしまう。

施設が崩壊し、建て直しにも多額
の金がかかる事態に、

ぼきんによって給料をもらって

「ようしくんが」前に別海
に住んでいた人たちを連れ
戻す。

別海町から逃げた人々の町も
災害が起きて別海町を
もう一度訪つこうとせむかりが
はじまる。

ぼきんをはいぬたけとたかたか大金
がはいりすたかたかたてものがたたな
い

たかぼきんがはいまたと同時に
地しんが起きさらにじたいが
しこくになつてしまった。

ぼきん活動のおかげによりお金
が集まりボランティアも集まり、
ふっこうせきょうが始まった。

別海町からお金が集まり、
生活が安定



残っている人たちが新しいせが
いをもたていせ、ものの生活に近づける

バットエンドバージョン
でも、
ほきん外あつまらず町のしめふく
は進まずかった。

いままでα話は全て夢
で、その夢を見た町長がみんなに起こった事を伝えて前から災害への対策を始め、みんなを助ける

りふ牛さんかつおもといしの人たちは、このおやたちをみて、自分たちのお金をやってかいふくさせる

町がかいふくしてたてもものずふへ人口もぐんぐんふよてにがもかになつた

たまたまつなみの被害を受けなかった近くの町の大ふどうがお金を尽山だしてくれて元の別海町にもどった。
(大ふどうのまはきょうとく強かつたから)

ほきんもう一度はじめると、集めて住人もふえはじめた。

町長が各地へ行き、ほきん活動のははを広げ全国でほきんする
↓
お金が集まり、ふこう、貧乏客や支援活動の人たちに来て、とてもちやかな町になる。

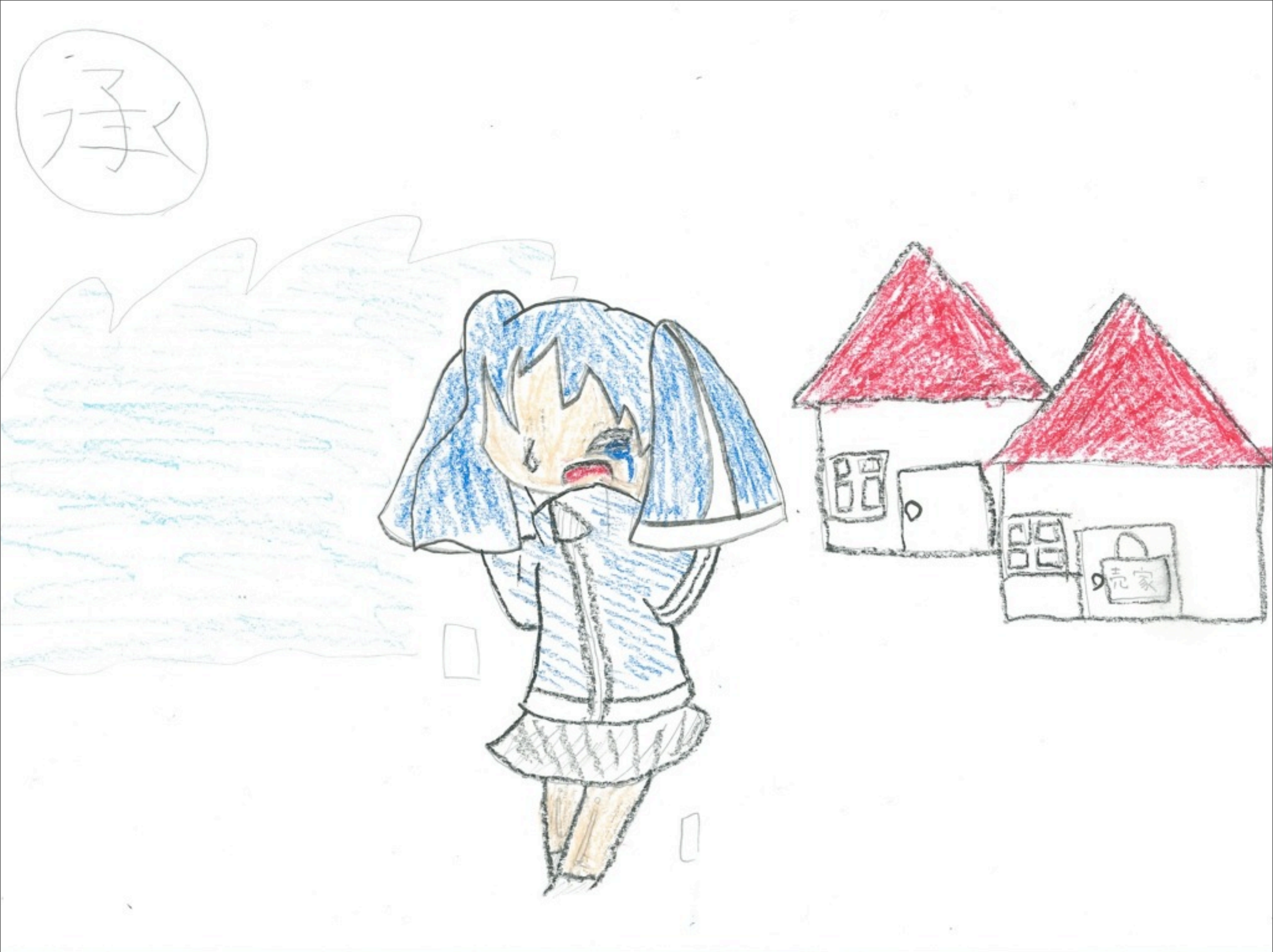
つなみが来て、町長が別海町の人達を助ける。 シムラ
そして、もう一度別海町のふこうがはじまる。

そのことをかわいらしいと思った他の地域の人はお金を前の倍ほきんし、しせつ外たちもこの町のようになった。

Bグループの おはなし



別海町はたくさんの課題を抱えていました。ひとつは子どもが遊ぶところが少ないこと。もうひとつは、高齢者が増えていっていること。もうひとつは跡継ぎが減って産業が衰退していっていること。もうひとつは、他の町やインターネットで買い物をする人が増えていること。そんな別海町にある日津波がきました。津波によって施設が崩れ、家がなくなり大変なことになりました。そんな時、また更に災害がおきました。



津波がおき、後に地震がおこり、竜巻がおこりました。全てが流されてしまいみんなが困りました。
そこで町長は募金をはじめました。

車云



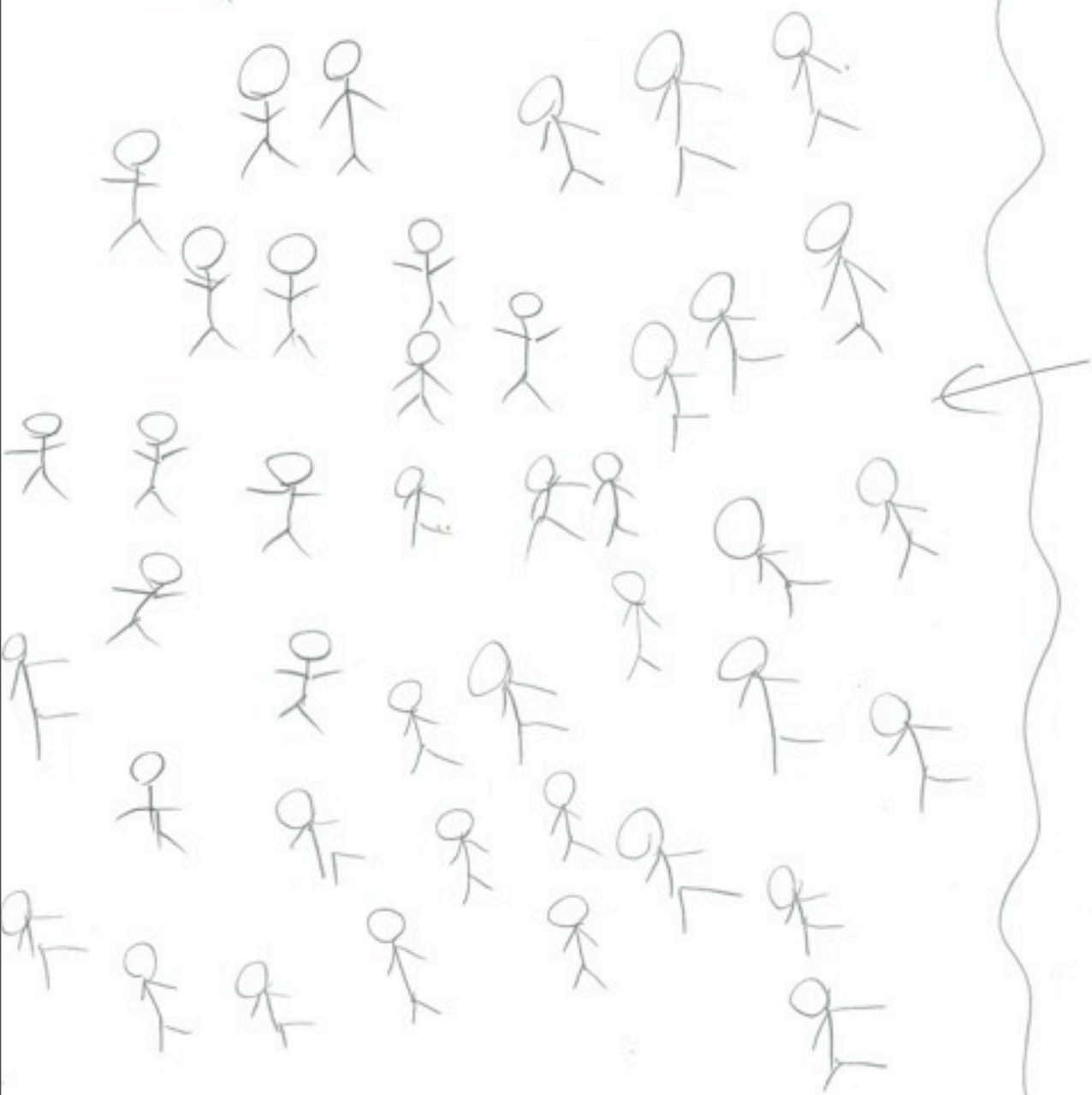
別海



募金活動によってお金が集まり復興作業がはじまりました。それによって、色々な施設が増え、人口も増えていきました。しかし、復興作業の中また地震がおこり、事態は悪化しました。でもお金はもう集まりませんでした。

数年後...

助かりました



地震

津波

たーいふー

たーまき

結 町長が全国各地をまわってお金の幅が広がっていきました。そして、復興が成功したのですが、台風がおこりました。しかし、これまでお金を貰い過ぎていたため、復興が不可能になりました。と言う今までの話は全て夢でした。その夢をみた町長は、町民に夢で起こったことを伝え、対策をはじめました。数年後災害が起きましたが、町長が立てた対策によって、町は救われました。